

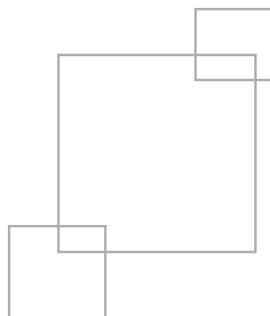
# 研修の企画・設計の方法 —インストラクショナルデザイン(1)—



堤 宇一

NPO法人学習分析学会 副理事長

つつみ・ういち●NPO法人学習分析学会 (<http://jastla.jp/>) 副理事長。熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学博士課程前期修了。専門テーマは「教育効果測定」「インストラクショナルデザイン」。現在、株式会社総合経営研修所に勤務しながら産業人教育の品質向上を目指し、講演、執筆、コンサルタントとして活動中。著書に「教育効果測定の実践」(編著)、「越境する対話と学び」(共著)など。



初回は、企業での人材育成の位置付けとその目的を概観し、人材に期待される能力の特徴や性質の違いを検討した。そして第2回では、HPI(Human Performance Improvement)の考え方を紹介しつつ、研修の効用と限界について議論した。

さて、残り2回では、有効な研修を開発するための理論「インストラクショナルデザイン」(Instructional Design: 以下、IDと表現する)を紹介しよう。

今回はIDの定義やコアとなる考え方を論じ、最終回では、研修設計の中で最も重要な「学習目標」について紹介していく。

## インストラクショナル「デザイン」とは

研修を含むインストラクションの目的をシンプルに表現すると、「人々の学習を支援すること」といえるだろう。IDとは、学習を支援する行為や活動を設計、組み立てるることである。

教育工学者の鈴木克明(熊本大学大学院教授)は「教育活動の効果・効率・魅力を高めるための手法を集大成したモデルや研究成果や実践からの知見を用い、教育活動をデザインすることで「偶発的な学習」から「意図的な学習」を実現しようとするのがIDなのである。

企業研修での開始挨拶の常套句に「何か一つでも、参加者の皆様が持ち帰ってくださいれば主催者として幸せです」という言葉は、IDを用いずに研修が提供されているという証拠なのである。もちろん日本の心「謙譲の美德」が込められていることは十分承知して

いるが。IDを用いて提供される研修では「明日17時の研修終了時には、皆さん全員が○○、△△、××の三つのことができるようになります。それでは充実した時間をお過ごしください」という挨拶になるだろう。

## インストラクショナル「デザイン」の「ADDIEモデル」

では具体的にどのような工程を踏み「教育活動の効果・効率・魅力を高めよう」としているのかを見ていく。

コアとなる枠組み「ADDIEモデル」を紹介しよう。ADDIEとは「Analysis: 分析」「Design: 設計」「Development: 開発」「Implementation: 実施」「Evaluation: 評価」の五つの要素から構成されるプロセスを意味し、各要素の頭文字をとり「アディ」と呼ぶ。この五つの工程をキチンと実行することで効果的な教育や研修が提供できるようになる。

各工程を簡単に説明しよう。分析(A)工程は、どんな問題が発生しているかを把握し、その問題は教育や研修という施策で解決できるのか。学習者は教育施策に参加することでき、研修ができるのか。学習策は教育や研修を実現することができる。

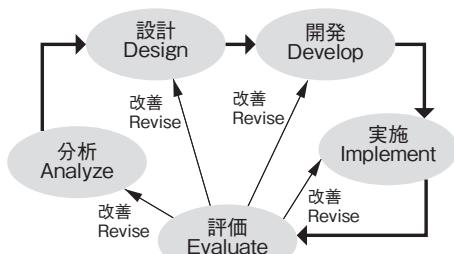
工程は、実際に教育を実行する工程になる。参加者全員が分析工程で設定した学習目標に到達するように支援し、研修を建設的な学びの場として維持強化しなければならない。

最後の評価(Evaluation)工程は、参加者の学習達成度、教材の評価、実施工程での不具合の確認などをを行い、より有効性の高い研修へと改善を図る工程である。これらの工程を一つひとつ展開することで効果的で効率的な研修に仕上げていくのである。

以上のように、ADDIEを厳格に実行することによって研修の有効性を高め、意図的な学習を実現しようとするアプローチがIDなのである。研修が個人的投資としての機能を果たすには、研修講師の話法や知名度に依存するアプローチでは困難であるといわざるを得ない。

さて、次回最終回は研修設計で最も重要な役割を持つ「学習目標」について論じ、本連載を締めくくろうと思う。

### ■ ADDIE モデル\*



ルを身につけるかを定義する工程である。五つの工程の中でも取り分けてこの工程が重要といえる。分析工程での誤りを、残りの工程で挽回するのは大変難しい。

次の設計(Design)工程は、分析工程で描いた青写真を具体的な計画に落とし込む工程である。学習目標を明確にし、学習項目を洗い出し、どのように学習活動で展開するのか、その詳細をプランニングし設計図を描いていく。

そして、このプランニングと設計図に沿い、時間割や教材、シート等を製作する工程が開発(Development)工程である。